

現在、心臓血管内科・血管科では、バイオバンクご協力者からいただきました
検体・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】

カテーテル治療を行った下肢閉塞性動脈硬化症症例における予後調査（HDL 機能指標を含む）

【研究対象者】

2013年1月1日より2022年3月31日までの間に、血管科において下肢閉塞性動脈硬化症のため入院され、カテーテル治療を受けられた方

【利用している検体・診療情報等】

（検体）血清 1.0ml

血清は HDL 機能（コレステロール引き抜き能、粒子サイズ）、リポプロテイン(a)、アポタンパクの測定のために利用します。

（診療情報等）診断名（Rutherford 分類）、年齢、性別、既往歴、併存疾患名、内服薬情報、身体所見、バイタルサイン、血液学的・血液生化学・血液凝固検査データ、生理機能検査（皮膚灌流圧、足関節上腕血圧比、下肢動脈血管エコー等）、カテーテル治療情報（治療日、標的病変部位、使用デバイスの名称・サイズ、血管径、狭窄率、病変長、血管内超音波(IVUS):内腔面積、プラーク面積、血管径、合併症の有無）

【利用の目的】（遺伝子解析研究：有 無）

下肢閉塞性動脈硬化症におけるカテーテル治療後の予後を明らかにし、さらに予後と HDL 粒子機能指標（コレステロール引き抜き能、粒子サイズ）の関連について解明することを目的としています。

【利用期間】

研究許可日より 2025 年 3 月 31 日までの間（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：心臓血管内科 冠疾患科 医長 片岡 有

研究内容の問い合わせ担当者：冠疾患科 医長 片岡 有

電話 06-6170-1070（代表）（内線 60189）（応対可能時間：平日 9 時～17 時）

【バイオバンクでの検体・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日 9 時～16 時）
電話：06-6170-1070（内線 31050）、ファックス：06-6170-2179
Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp